

<目次>

はじめに

北東アジアにおける気候変動の影響を勘案した砂漠化・干ばつ対策検討委員会について

第1章 モンゴル国の気候変動に対して脆弱な地域における適応策の検討

1. 気候変動に対する脆弱な地域の検討
 - 1.1 中緯度地域における気候変動の影響ならびに将来予測..... 1
 - 1.2 モンゴル国における気候変動の影響ならびに将来予測..... 2
 - 1.3 気候変動に対する脆弱な地域の特定 11
2. モンゴル国における適応策
 - 2.1 気候変動の圧力への対応 13
 - 2.2 牧畜部門における主要適応策 13
 - 2.3 適応策実施にあたっての障害等 16
3. モンゴル国における遊牧の現状、課題
 - 3.1 冬営地周辺の放牧地の欠如 18
 - 3.2 飼料の生産・備蓄体制の崩壊 18
 - 3.3 異常気象時の長距離移動の課題 18
4. モンゴル国における制度・政策
 - 4.1 国の制度・政策 19
 - 4.2 ドンドゴビ県の政策 20
 - 4.3 遊牧民による対策 20
5. 中国の事例に見られる定住・半定住化の課題の整理
 - 5.1 中国における遊牧の概要 20
 - 5.2 中国の遊牧民の定住化政策 21
 - 5.3 草地法による草原請負制度の導入 21
 - 5.4 中国とモンゴル国の比較 22
 - 5.5 中国との比較からの適応策検討のための論点整理..... 23
6. モンゴル国の気候変動に対して脆弱な地域における適応策の検討..... 24
7. 当事業で試験的な実施を行う適応策 26

第2章 中央・地方の行政組織等の利害関係者の関与強化のための会合開催

1. 会合の開催概要 35
2. 各会合の議事内容
 - 2.1 第4回ラウンドテーブル 35
 - 2.2 第4回ステアリング・コミッティー 43
 - 2.3 第5回ラウンドテーブル 49
 - 2.4 第5回ステアリング・コミッティー 55

第3章 キャパシティ・ディベロップメント手法としての評価（中間評価）

1. モデル事業の経済、社会、環境、制度・政策的側面に関する中間評価

1.1 Adiya グループ	63
1.2 Bazarvaani グループ	64
1.3 Sugir グループ	65
2. モデル事業対象地域の水、土壌等の調査結果	67
3. モデル事業の今後の方向性	
3.1 事業の進捗状況	70
3.2 事業の課題	70
3.3 モデル事業対象遊牧民が考える今後の方向性	71
3.4 平成 21 年度事業の方向性（案）	71

< 参考資料 >

参考資料 1：第 1 回検討委員会議事録（概要）	77
参考資料 2：第 2 回検討委員会議事録（概要）	85
参考資料 3：地生態学研究所調査報告書（原文。英語）	99